

やすらぎ短信

平成31年
3月号

三月三日 上巳(桃)の節句



三月三日は、雛祭の日です。上巳(じようし)の節句、桃の節句ともいいます。女の子の健やかな成長に感謝し、お祝いする行事です。はじめて女の子が誕生した家は、初節句といつて、雛人形を購入し、家に飾って家族でお祝いを致します。この雛人形は、元々紙でつくった人形(ひとがた)に罪、穢(けが)れを移して、川や海に流して不浄をお祓いしたのがはじまりです。この人形が次第に豪華になり、今のように雛飾りとなりました。最近では住宅事情で、七段飾りの雛人形を見ることは少なくなりましたが、子や孫へと伝えていきた大切な行事です。

お彼岸



春分の日、昼夜の長さがほぼ等しくなる日で、中日(ちゆうにち)といいますが、この日の前後三日間、計七日間を彼岸(ひがん)といい、仏壇やお墓をお参りして、ご先祖様に感謝の祈りを捧げます。ご先祖様から脈々と受け継がれてきた自分の命のありがたさに感謝する大切な日です。

社日祭

社日とは、一年に春秋の二回あり、春分の日、秋分の日それぞれ最も近い戊(つちのえ)の日をさします。この日には、土地の神様・農耕の神様に五穀豊穰と農作業の安全を祈る社日祭が行われます。浦幌町内の社日碑は、浦幌神社の境内に二基(元帯富・千歳の社日碑)、常室・万年・稲穂・養老の地区にもそれぞれおまつりされており、春秋の社日祭が行われております。

年度

はやいもので、三月で今年度も終わり、四月には新年度を迎えます。この時期は、定期総会などの会議が多くなります。この「年度」とは、暦の一月から十二月の区切りとは別で、業務上や会計上の一年間の区切りをいいますが、官庁や多くの企業が、四月一日から新年度としているのは何故でしょうか。それは、国の「会計年度」が毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる」と決められていることが大きな理由といえます。では「何故「会計年度」が四月始まりなのか。日本に「年度」が導入されたのは明治時代です。国によって会計年度は様々ですが、日本は四月が年度始めということで定着しました。日本は古くから農耕民族で、特に稲作が経済の中心でありました。収穫された米が現金化され、税金を徴収して、予算編成すること考えると一月では間に合わず、四月の方が都合のよいことから、四月年度始めとして定着したといわれております。

官司の一筆

「春分の日について」

春分の日は、祝日法で「自然をたたえ、生物をいつくしむ」日とある。では何故この日が祝日になっているのだろうか。毎年この日には、宮中で春季皇霊祭（しゅんきこうれいさい）が行われる。この春季皇霊祭は、天皇陛下が宮中三殿（きゆうちゆうさんでん）の内の一つである皇霊殿（こうれいでん）で、神武天皇以来の歴代天皇・皇后・皇妃・皇親の御霊をおまつりされる儀式である。元々はこの春季皇霊祭のための祝日であったが、戦後、GHQの占領政策により排除され、春分の日として今に至っている。

歴代天皇がご先祖様への祈りを大切にされてきたように日本人は古くからご先祖様への感謝の心を大切にしてきた民族である。春分の日を迎えるにあたり、本来の祝日の意義を考え、ご先祖様への感謝の祈りと共に、自分が今世で何を為すべきかを考える祝日にしたい。

節分祭を斎行

去る二月三日に

節分祭を斎行致しました。今年は日曜日ということもあり、多くの方にご参列頂き、無病息災を祈願致しました。恒例の豆まき神事では、炒った大豆を「福は内」「鬼は外」の掛け声でまき、厄落しを致しました。



車のお祓いのご案内

お車のご購入に

際し、お祓いを受けられ、交通安全の志を高めましょう。

新車、中古車を問わずご予約にてお祓いし、交通安全をご祈願致します。大型・特殊車両のお祓いは、ご希望であれば、神主が出張致します。



厄祓いお済みでない方へ

厄祓いは年中、ご予約にてご奉仕致します。厄は早いうちにお祓い致します。

男 性			女 性		
24歳	平成8年生(1996年)	前厄	18歳	平成14年生(2002年)	前厄
25歳	平成7年生(1995年)	本厄	19歳	平成13年生(2001年)	本厄
26歳	平成6年生(1994年)	後厄	20歳	平成12年生(2000年)	後厄
41歳	昭和54年生(1979年)	前厄	32歳	昭和63年生(1988年)	前厄
42歳	昭和53年生(1978年)	本厄	33歳	昭和62年生(1987年)	本厄
43歳	昭和52年生(1977年)	後厄	34歳	昭和61年生(1986年)	後厄
			36歳	昭和59年生(1984年)	前厄
			37歳	昭和58年生(1983年)	本厄
			38歳	昭和57年生(1982年)	後厄
49歳	昭和46年生(1971年)	本厄	49歳	昭和46年生(1971年)	本厄
61歳	昭和34年生(1959年)	還暦	61歳	昭和34年生(1959年)	還暦
70歳	昭和25年生(1950年)	古希	70歳	昭和25年生(1950年)	古希
77歳	昭和18年生(1943年)	喜寿	77歳	昭和18年生(1943年)	喜寿
80歳	昭和15年生(1940年)	傘寿	80歳	昭和15年生(1940年)	傘寿
88歳	昭和7年生(1932年)	米寿	88歳	昭和7年生(1932年)	米寿

浦幌神社行事予定

三月一日 月次祭
 三月十五日 月次祭
 三月下旬 春季社日祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八